

社員ひとりの幸せを、会社みんなの喜びに。



男女参画・こども局 こども未来課

〒840-8570 佐賀市城内1丁目1-59
TEL 0952-25-7381 FAX 0952-25-7339
kodomomirai@pref.saga.lg.jp

2017年11月発行



社員ひとりの幸せを、会社みんなの喜びに。

婚センサスBOOK

「出会い結婚応援企業」のみなさまへ

consensus book

出会い結婚応援企業のみなさまへ

いま、婚センサスが必要です！

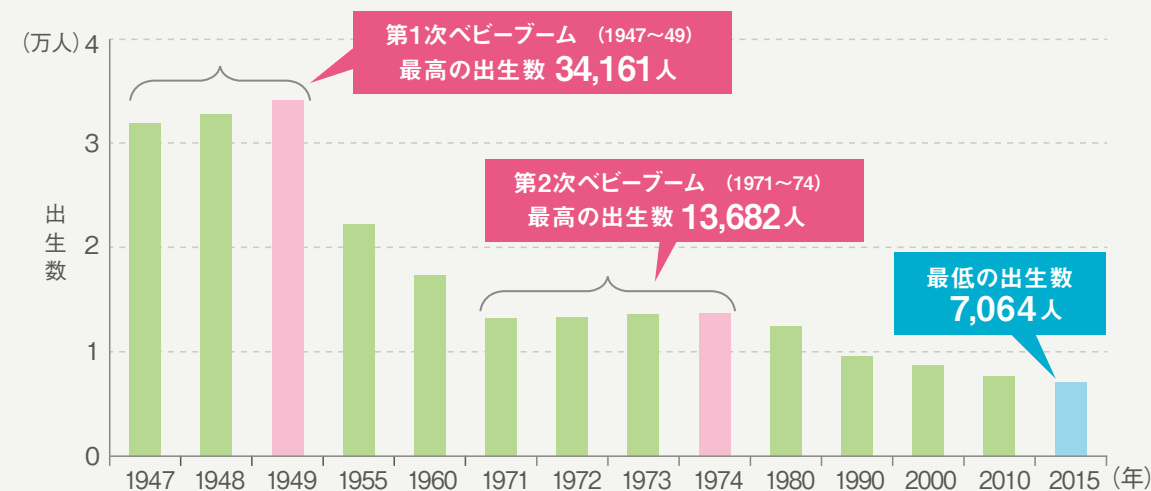
DATA

データでみる 佐賀県の現状

「婚センサス」とは、社員の出会い・結婚を応援する会社と独身社員の思いが一致して、独身社員の恋愛・結婚への関心が高まることを表現した造語です。そもそもコンセンサスとは「意見の一致・合意」を意味します。ここでは佐賀県の出生数や推計人口等をデータで紹介。「婚センサス」は、未来の佐賀のためにも必要です。

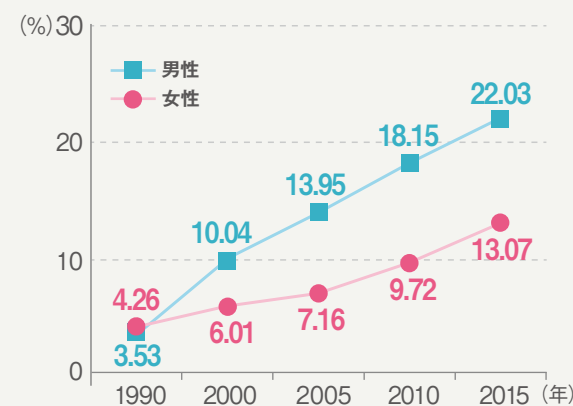
佐賀県の統計データ

出生数の推移

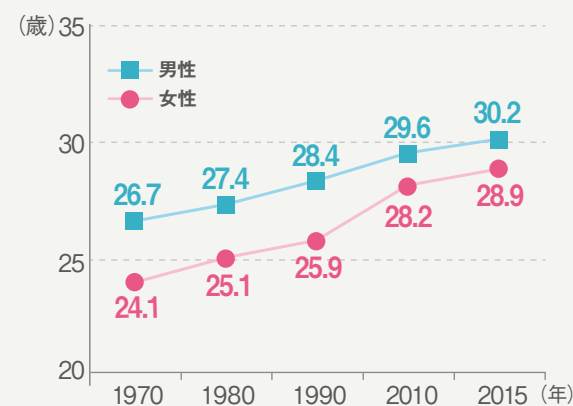


〈出典：厚生労働省人口動態統計〉

生涯未婚率

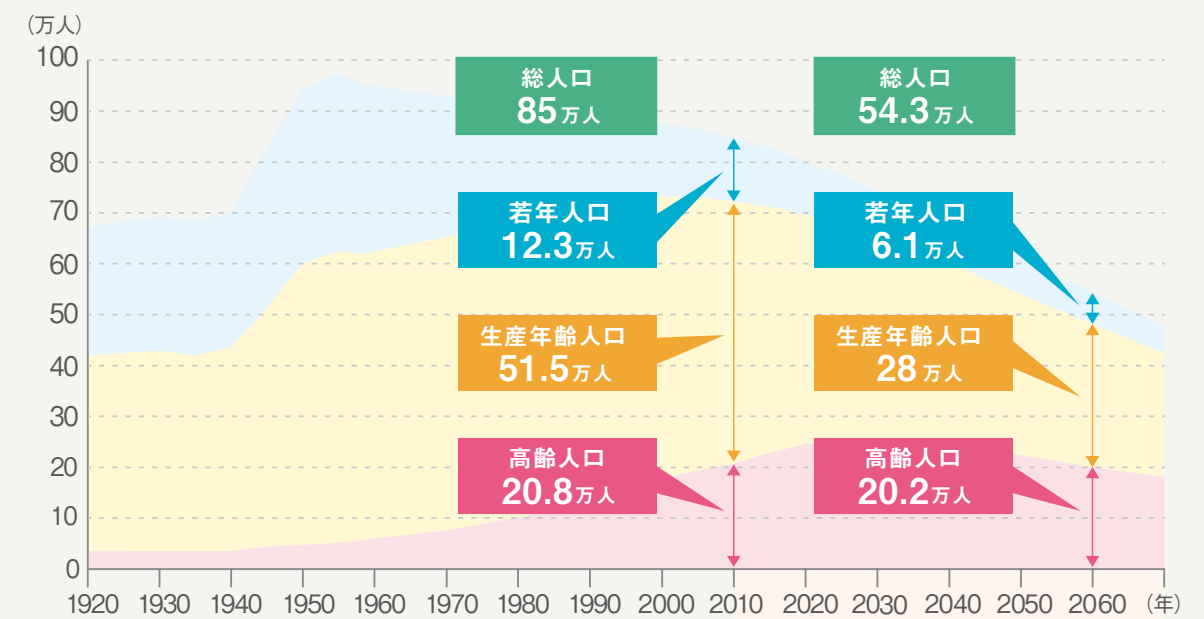


平均初婚年齢



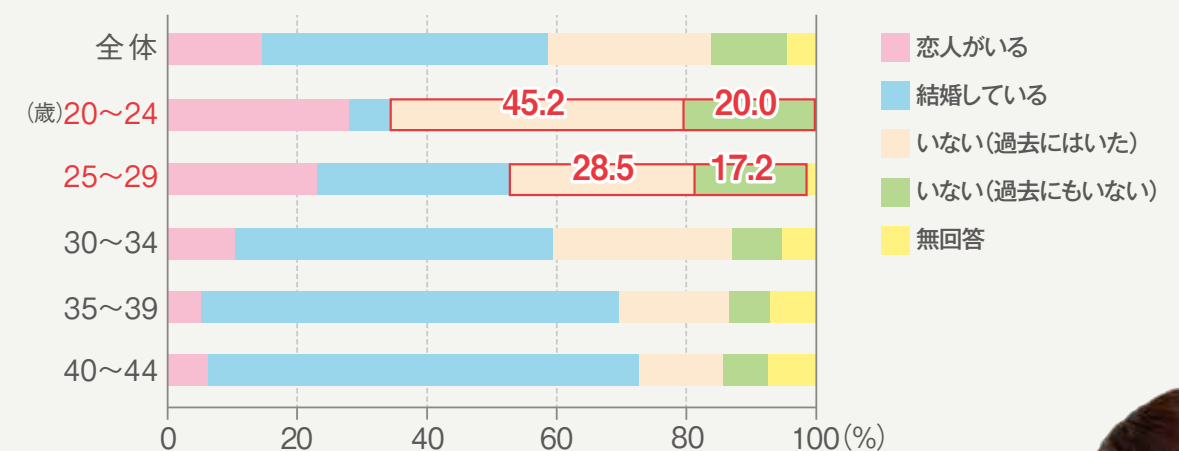
〈出典：国立社会保障・人口問題研究所 人口統計資料集〉

将来推計人口



〈出展〉総務省「国勢調査」(1920-2010)※総数に年齢不詳人口を含む。構成比は年齢不詳人口を除いて計算。
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2013年3月)推計」
※2041年以降は、国立社会保障・人口問題研究所公表資料を基に佐賀県試算。

現在付き合っている特定の異性(恋人)の有無



〈出典：平成28年佐賀県少子化に関する県民意識調査〉

国の就業構造基本調査(H24)によると、佐賀県では「共働き世帯の割合」が53.1%で全国8位、「25～44歳の育児をしている女性の有業率」が64%で全国14位と高い水準にあります。

企業の皆様の応援のもと、結婚を希望する独身者の方々がステキな人生のパートナーと出会い、男女がともに子育てをしながら働き続けられる社会を目指したいと考えています。



結婚していない 社員のホンネ

●独身でいる理由



POINT

「理想の人と知り合えば結婚したい」という人… 全体の **68.3%**



●結婚相手と出会うために「あったらいいな」と思うきっかけ



POINT

「誰かにいい人を紹介してほしい」と、多くの人が思っています！



そのほかの声

まだまだ
今は仕事に
打ち込みたい！

そもそも
結婚って
必要ですか？

まだ若いから
もう少し先で
いいかなって

挙式とか
新生活とか
結婚資金が…

親や親戚に
紹介してほしい
お見合いも
いいかなって

信頼できる
結婚相談所に
行きたいかな

ネットの
婚活サイトも
利用したい

社員ひとりの幸せを、 会社みんなの喜びに。



社員の結婚を応援してもいいけれど、なぜ会社で応援するの？それが会社のためになるの？そう思われている方もいらっしゃるかもしれません。しかし、ひとりひとりの幸福度が仕事の成果に関係するという研究があります。社員が結婚して幸せになることは、会社の幸せにもつながる可能性があります。

POINT

社員の幸せは、一人ひとりの仕事に成功をもたらします。
結婚を希望する社員の結婚（幸せ）をバックアップし、
結婚後も働きやすい職場づくりのため
ワーク・ライフ・バランスを推進することで

- 社員の満足度や意欲向上
- 社員の心身の健康増進
- 社員の定着
- 優秀な人材の確保
- 企業イメージや評価の向上

などが図られ、
会社全体の利益につながる可能性があります。

“例えば、こんな事例もあります”

チーフ・ハピネス・オフィサー

〈アメリカ・シリコンバレー発祥、世界的企業でも導入〉

社員の幸せについて考える役職

チーフ・ハピネス・オフィサーとは、社員の幸福度について考え、その向上に努める役職。近年様々な企業で導入されており、同時に彼らの仕事内容についての注目度も高まっています。

日本における「幸せ」の研究

「幸福学」を研究する前野隆司氏（慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 研究科委員長・教授）は、自身の著書の中で『働き方改善では、単に時短をめざすのではなく、働き方の質を改善すべきだと思います。幸せに働いていれば、パフォーマンスも創造性も向上し、人間関係も良好になり、結果として時短を実現できるのです』と唱えられています。

出典：前野隆司「実践ポジティブ心理学」PHP新書

ソニア・リュボミアスキー氏らの研究

（カリフォルニア大学リバーサイド校の心理学教授）

幸福感の高い社員の
生産性は平均で31%、
売り上げへの貢献は37%、
創造性は3倍高いという
結果になった。

出典：斉藤徹「BEソーシャル!」日本経済新聞出版社



社員に結婚をススメるその前に。 consensus book

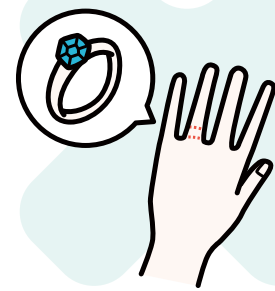
よかれと思って…の言動がトラブルを招くことも。



安永法律事務所 弁護士
安永 恵子

結婚というおめでたいことは、職場でも祝福したいものですよね。社員の結婚観や結婚相手のことを知ることで、その社員の理解も深まります。

しかし、そもそも恋愛や結婚ということは社員のプライバシーに関わります。本人が話したくないのに根掘り葉掘り聞くと、セクシュアルハラスメント(セクハラ)、パワーハラスメント(パワハラ)というトラブルになりかねません。どのような言動がセクハラ、パワハラにあたるのか、問題となる事例を紹介します。



「結婚する気はないの？」
「恋人はいないの？」

結婚意思や交際相手の存在を確認する質問など、プライベートなことにに関する質問は、社員が尋ねられたくないと感じている場合はセクハラになる可能性があります。また、過度にプライベートに立ち入る場合はパワハラにも該当します。



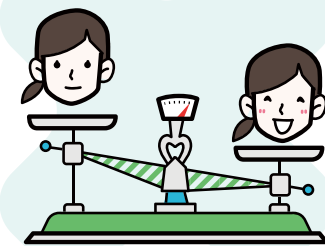
適齢期?

「もう〇〇歳なのに
結婚しないのは
おかしい」

結婚を勧めるあまり、こちらの価値観を一方的に押し付けることは、社員の人格を傷つけることにつながります。からかいの要素が入るとセクハラになる可能性があります。

既婚者と独身者の比較、
婚活に積極的な人と
消極的な人と比較する

比較されたことによって、その社員が疎外感や不利益を感じた場合はパワハラに該当する可能性があります。既婚者や婚活に積極的な社員をひいきするなど、独身者や婚活に消極的な社員が居心地の悪さを感じる扱いをしないようにしましょう。



こんな婚センサスはNGです。

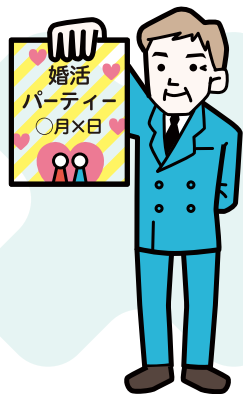
「結婚したら子どもを産むの？」
いつ頃産むの？」

子どもを産む「バースプラン」もプライベートなことです。業務上確認する必要性がない限り、セクハラになる可能性があります。また、業務上確認する必要があったとしても、「すぐに子どもを産まれると困る」などバースプランに影響を与えるような言動は、マタニティハラスメント(マタハラ)に該当する可能性があります。



「今度、婚活イベントがあるから行きなさい」

「婚活イベントに行ってみたら?」のような促しはOK!でも基本的に業務とは関係ないことです。社員の意向を無視して強要することは、パワハラに該当する可能性があります。



「結婚が決まったんだね。
〇〇さんは寿退社かな」

「結婚＝退職」を当然とするような発言は、女性差別につながります。冗談で言ったつもりでも、社員にとっては退職を迫られていると感じることもあるので、不用意な発言には気を付けましょう。



婚活の状況を詮索、
婚活の状況を
言いふらす



社員が婚活していることをオープンにしても、その後の進展に触れられたくない場合もあります。また、社員が婚活の状況を話してくれたとしても、それを面白おかしく話題にすることは、社員を傷つけることにつながります。それとなく尋ねる程度なら問題はありますが、そっと見守る姿勢も大切です。

「結婚相手はどんな人？」
「どんな仕事をしているの？」

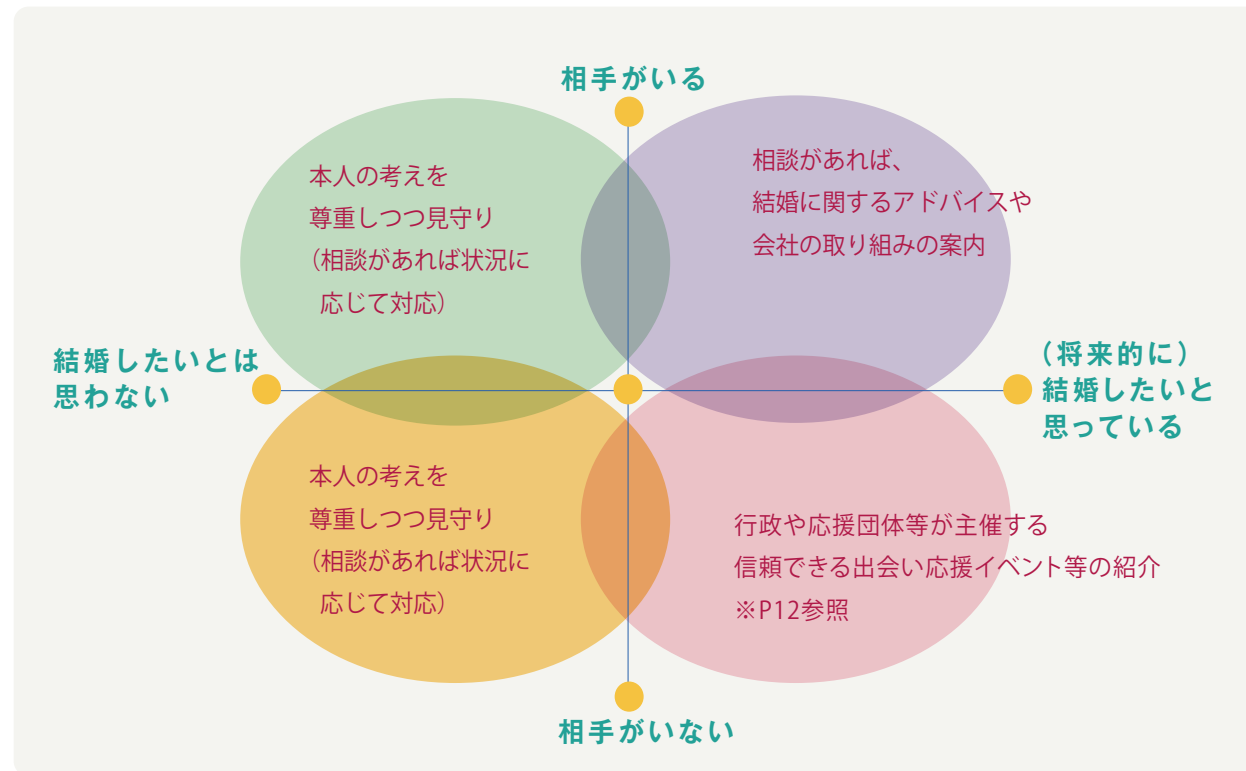
社員と結婚する相手に関心を持つ気持ちは理解できますが、社員が話したくないのに詮索することはプライバシーの侵害です。また、結婚相手の情報をむやみに広めたりすることも控えましょう。



まずは個々の社員の気持ちを把握しましょう

社員の状況に応じた対応を

ひとことで「結婚していない社員」といっても、その立場や考えはさまざま。ひとりひとりの状況に合った対応が必要です。



ハピカフェのHAPPY アドバイス



須古いずみ

サガテレビブライダル
Hapi♥cafe
SAGATV

結婚のお話はとってもデリケート。

結婚のお話を進めるカップルより、日々様々なご相談をいただきます。その中で感じる共通点は「結婚はお二人だけのものではない」ということ。例えば、「両親から反対されているけれど、結婚を前提にお付き合いを進めるカップル」や「婿入りを希望する両親の気持ちを彼に言えずにいる彼女」や「再婚相手のお子様と上手くやっていけるか心配

な方」など幸せな結婚生活を抱かれる中にも複雑な悩みをお持ちの方も多くいらっしゃいます。

だから、私たちも慎重にお話をするようにしています。皆さんも『結婚に関するお話はデリケートで個人的なものである』ということを十分に理解された上、社員の皆さんにお声かけしてください。

P7、P8で紹介したNGに注意しながら相手の気持ちを探ってみましょう。

POINT.1

コミュニケーションを取り、信頼関係を築く

この社員は結婚の意志があるのか、まだ結婚は考えていないのか、日々の会話の中で様子を探ってみましょう。結婚を全く考えていない社員にとっては、どんなアドバイスも「おせっかい」に聞こえる可能性があります。まずは結婚をテーマにした話ができるくらい、信頼関係を築くことが大切です。

POINT.4

消極的な反応だった場合、ふみこまない

結婚についての話で、社員が困惑した表情を浮かべるなど、消極的な反応をした場合は、それ以上結婚についての話をしないようにしましょう。

POINT.2

大勢の社員の前で話さない

結婚や交際については、とてもプライベートなことで。大勢の社員がいる前で話題を投げかけず、できるだけ人数が少ないとき(2人で会話しているとき)などに、さりげなく結婚についての考えを聞いてみましょう。

POINT.5

どんな考えも、まずは尊重する

社員が結婚についてどんな考えを持っていても「そんな考えじゃダメだ」と否定せずに「そういう考えもある」と、まずは尊重してあげましょう。尊重した上で、自分にできるアドバイスを考えてみてください。

信頼関係を築くことができれば、今すぐではなくても、今後「出会い・結婚」についての相談を受けることがあるかもしれません。そのときは、あなたがチカラになってあげてください。



POINT.3

最初に自分の結婚観を話してみる

何かのテーマについて会話したいとき、いきなり質問するのではなく、まずは自分の状況や考えを話すと、相手も話しやすくなります。自分の家族や結婚観について話をしながら、「君も結婚とか考えたりする？」というような声かけをしましょう。

性や結婚に対する考えは人それぞれであることも念頭に声かけを。

〈社員の気持ちを聞いた後〉

出会い・結婚に関心がうすい場合
ムリに話を進めず、
あたたかく見守りましょう

出会い・結婚に関心がある場合
次のページから
紹介するようなサポートを！

“出会い結婚応援企業”としてのサポート例

社員の状況をわかった上で、「出会い」に関心がある人、「結婚」に関心がある人に向けて、さまざまなサポート例を紹介します。

サポート その①

「出会い」に関心がある社員に対して

●あなたが「出会い」のキューピットに

先のページのアンケート結果のように「紹介してほしい」と望んでいる独身者はたくさんいます。同じ会社内、または取引先の企業の若手社員などとの出会いを望む社員がいたら、その出会いのきっかけづくりをしてみませんか。

●出会いの場を紹介

会社内外で懇親会の場合がある場合、興味のある社員へ参加をうながしてみましょう。また「婚活パーティー」「婚活セミナー」などの情報が入ったときに、その情報を話してみてください。どちらも他の社員の前は避け、個人的に話すこと、ひとり一人と信頼関係を築き、デリカシーを持って社員と接することが大切です。また、会社の掲示板などでイベントを紹介する場合は、直接的・強制的な表現にならないよう配慮が必要です。

【例】 NG … 来週婚活パーティーあります。参加しましょう！
OK … 来週『イベント名』があります。興味のある方は参加してみませんか？

●企業間交流会などの開催

企業間の交流会なども、ステキな出会いの場になります。参加者の興味を引くセミナーや体験などとセットのイベントは結婚色が全面に出すぎず、気軽に参加しやすいといった声もあります。

●結婚後も働きやすい職場に

休暇制度の充実やワーク・ライフ・バランスの推進などにより、結婚後も男女がともに働きやすい職場環境をつくっていきましょう。

ハピカフェの
HAPPY アドバイス

サガテレビブライダル
Hapi♥cafe
SAGATV

‘出会い’のきっかけが‘出会いの場’
素敵なお縁が繋がっています。

近年では恋愛結婚という流れが増えてきましたが、婚活パーティや紹介所のような出会いの場で相手が見つかり、幸せな結婚生活を送られている方もたくさんいらっしゃいます。とある方は「婚活パーティーに行ってもすぐに相手が見つかるわけでもないし、疲れるだけ…」と婚活を一旦おやすみ。「肩の力を抜いて気軽に再開してみたら相手が見つかった!」というケースもあるようです。参加す

る時の気持ちの持ちようも大切だと思います。また、結婚が決まるとすぐに結婚準備が待っています。ご挨拶・お顔合わせ・ご結納・結婚式…などご両家での価値観のすり合わせの際に「仲人さんがいたら…」というお声も耳にします。この冊子をご覧の皆さんが、人生の先輩として結婚に関心がある社員の心強い味方になって欲しいと願います。

出会いを求めている社員にオススメしたい！

安心して利用できる出会いの場

「出会いの場」といっても、インターネットの掲示板やSNSなどでは、すこし怪しいサイトも…。ここでは佐賀県がサポートしている出会いの場を紹介します。ぜひ、出会いを求めている社員の方にご紹介ください。

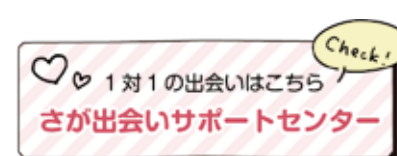


子育てし大県“さが” 出会い・結婚 ウェブサイト



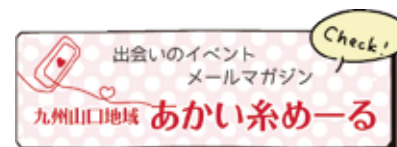
県や市町、企業等が開催する独身男女の出会いや結婚を応援するイベントなどの情報がもりだくさん！

子育てしたい県 さが 検索



「さが出会いサポートセンター」は、1対1の出会い応援サービス。まずは会員登録が必要で、プロフィールを登録すると、さが出会いサポートセンターのシステムで会ってみたいお相手のプロフィール検索や、お引き合わせの申し込みが可能となります。その後スタッフが調整し、相手の方が承諾された場合、お引き合わせします。

さが出会いサポートセンター 検索



メールマガジン「九州・山口地域 あかい糸めーる」は、九州・山口地域で開催される出会いの場となるパーティー、食事会、旅行、体験活動、マナーアップ講座等のイベント情報などを、登録いただいたメールアドレスに電子メールでお届けします。

※お申し込みの際にご入力いただいた個人情報は、当メールマガジンの配信以外には使用しません。

九州・山口地域あかい糸めーる 検索

イベント参加方法



サポート その②

「結婚」に関心がある社員に対して

すでに付き合っている異性がいて、結婚を意識している社員がいたら、背中を押してあげましょう。

●会社の福利厚生を、あらためて教える

会社の福利厚生を知らない・忘れているという若手社員さんもいらっしゃるはず。そこで「住宅手当」「家族手当」「産休や育休」について、また「結婚休暇」など、結婚に関係する福利厚生について話をしましょう。

【具体例】

知ってる？ウチの会社では結婚すると、こういう手当があるよ

●性格をふまえてアドバイス

同じ会社で共に働くあなただから言える言葉があります。それは、その社員の仕事ぶりや性格を把握した上で「君なら結婚してもやっていける」というアドバイスをおくることです。

【具体例】

君はチームで動くときも自分の役割をしっかりと果たしているし、いざというときの決断力もあるので、結婚してもうまくやっていけるよ

経験者からのアドバイス

●結婚してよかったことを話す

結婚に関心がある社員は、結婚についての理想や夢、あるいは不安を持っているはずです。そこで、あなたが感じる結婚生活の良さを社員に話してみましょ。う。実体験に基づいた話は、きっと社員の参考になるはずです。

【具体例】

喜びや楽しみを共有できる人がいるって、やっぱり幸せなことだったよ

●ご自身の結婚前の心配事と成功体験

いざ「結婚」となったときの心配事は、今も昔もそんなに変わっていないはず。あなたが結婚する前に思っていた悩みや心配事などを、ざっくばらんに話してみましょ。また、その悩みや不安を「どうやって乗り切ったか」のような、あなたの成功体験は心強いアドバイスになります。

【具体例】

若かったので経済面は心配だったけど、2人でやりくりしたら、より絆が深まったよ

プロポーズのコトバ collection

「結婚してください」「ずっと一緒にいよう」「一生幸せにします」プロポーズの言葉はシンプルがいちばん！という声もあります。ただちょっとだけ印象にのこるプロポーズだったら、その言葉は一生の思い出になるかもしれません。

男性からの「プロポーズ」 例えば

サイズを教えて。くすり指の。

ぼくとあなたの人生を、ぼくらの人生にしたい。

今日を二人の結婚記念日にしませんか。

おじいちゃんおばあちゃんになっても、こうやって手をつないで歩いてくれますか？

もう恋人の関係やめにしない？夫婦になりたいんだ。



女性からの「プロポーズ」 例えば

ずっと一緒にいたいな。

毎日「ただいま、おかえり」って言い合いたいな。

あなたが困っているとき支えたいな。

いつも家まで送ってもらうのが心苦しいので、結婚してください。

